



追悼して

ロザンヌ S. オーバーイーターズ・アノニマス
創始者

1929年7月15日-2014年1月16日

「私はあなたの手に私の手を重ねる。そして、一人では決してできなかったことが、一緒にならできる。もう絶望感はない。それぞれの不安定な意志の力に頼らなければならないこともない。私たちを超えた力と強さを求めて私たちは今、みんな一緒にいる。そして手を取り合うとき、私たちは想像を超えた愛と理解を見いだす。」

- OA の約束、ロザンヌ・S より。

「千里の道も一歩から。」

(『For Today』 p. 311)

1958年のギャンブラーズ・アノニマスのミーティングに一歩足を踏み入れると同時に、オーバーイーターズ・アノニマスの創始者であるロザンヌ・Sは、強迫的な食べ方に悩む何千人もの人々に助けと希望をもたらす世界的な旅に足を踏み入れた。ロザンヌの旅は終わりを告げた。オーバーイーターズ・アノニマスの評議員会とワールドサービスオフィスは、そのエネルギー、ビジョン、決意、そして思いやりが1960年にOAを誕生させた女性に敬意を表す。彼女は多くの人々の助けを借りながら、手を取り合って54年間OAを育ててきた。

ロザンヌは1929年7月15日、米国ウィスコンシン州ミルウォーキーで、教育と勤勉を重んじる両親のもとに生まれた。両親はロザンヌにそうした価値観を植え付けた。彼女が12歳の時、一家はシカゴに引っ越した。すでに彼女は自分の体重や自分自身に不安を感じていた。18歳でシカゴ大学の3年生だった彼女は、やせていることが男の子たちと幸せになる道だと考え、142ポンド(64kg)から118ポンド(54kg)までダイエットをした。身長5フィート2インチ(157cm)の彼女には、その方が合っていると思ったのだ。男の子がやってきて、彼女の成績は急降下した。彼女は大学を去り、ビジネススクールに入学し、体重を元に戻した。1年後、彼女は大学に戻り、学位を取得した。

彼女はプロデューサーの秘書として働き始め、最初は劇団の夏季公演で、その後ニューヨークで働いた。2年後にシカゴに戻り、デパートのファッション・コピーライターになった。文章を書くことへの情熱が高まった。暖かい気候を求めてロサンゼルスに移り住み、百貨店チェーンの広告アシスタント・マネージャーとして仕事に邁進した。成

功にもかかわらず、彼女は自尊心の低さに悩まされ、強迫的な過食に苦しみ続けた。

1955年1月、恋の扉が開かれ、その年の暮れにはマーヴィン・Sと結婚した。その後、娘のデビーとジュリーが生まれた。(マーヴィンは1999年11月に亡くなった。)

1958年11月、彼女は新しい12ステッププログラム、ギャンブラーズ・アノニマスを紹介するテレビ番組を見た。救いを見出すのが彼女だとは知らずに、彼女とマーヴィンは、助けを必要としている友人を連れてミーティングに行った。彼女は思った。「私も同じだわ・・・彼らの強迫観念はギャンブルで、私の強迫観念は食べ物だけれど、でも、もう一人じゃないんだわ。」(『Overeaters Anonymous』第2版、p.11)。彼女は自分が 邪悪でも罪深い人間でもないことに気づいた。彼女は病気で、それには強迫的な過食という名前があった。

しかし、強迫的オーバーイーターのためのグループは存在しなかった。1年後、絶望の淵に立たされた彼女は、別のギャンブラーズ・アノニマスのミーティングに戻り、そこで創始者から、強迫的オーバーイーターのための12ステップ・プログラムを始めるというアイデアを追求するよう励まされた。1960年1月19日、ロザンヌと2人の友人が、オーバーイーターズ・アノニマスの最初のミーティングを開いた。(ロザンヌの個人の回復の物語については、「Keep Coming Back: ロザンヌの物語」『Overeaters Anonymous』第2版、p.7を参照。)

ロザンヌはOAの先見者となり、手を差し伸べ回復のメッセージを伝える新しい方法を常に模索した。彼女は、「12のステップと12の伝統」を強迫的オーバーイーターのために書き直すという最初の試みを放棄し、代わりにアルコールクス・アノニマス(AA)のオリジナルのステップと伝統の普遍性に頼った。彼女は早くから、メッセージを伝えるメディアの価値を認めていた。彼女はシンジケート・テレビ番組のプロデューサーを説得し、OAを特集させた。1960年11月1日、7人のOAメンバーがこの番組に出演し、その結果、OAメンバーは大幅に増加した。自宅でのミーティング、手紙のやり取りやカウンセリング、電話での説得に費やした果てしない時間、ダイニングルームに山積みになった書類、財務に費やした時間.....ロザンヌの人生は、マーヴィンのサポートによってOAとなった。しかし、「一緒にならできる(together we can)」メンバーを増やし、助けの手を差し伸べ、彼女とOAメンバーと一緒になって組織を成長させた。

ロザンヌはOAの多様性、アウトリーチ、回復プログラムに大きな変化をもたらした。彼女は、OAが1962年8月に最初のカンファレンスを開催することを提案した。1961年、OAは男性禁止を決議した。ロザンヌはこれに反対し

た。カンファレンスの委員会の承認を得て、彼女はグルットンズ・アノニマスの共同創始者であるテキサス出身の男性 A.G.を招待した。グルットンズ・アノニマスはカンファレンスで OA と合併し、こうして OA への男性への歓迎が始まった。

このカンファレンスの告知は、ロザンヌによって書かれ、OA の『ライフライン』誌の前身である最初の『OA Bulletin』に掲載された。彼女は、海上の巨大な定期船の隣にある救命艇を想像して、ライフラインという名前を思いついた。

第 1 回カンファレンスから最初の評議員会 (BOT) が発足し、メンバーは毎年 5 月にカンファレンスを開催することも決議した。OA のコンベンションは、第 1 回カンファレンスでの経験、力、希望を分かち合う一日から発展した。

1979 年、ロザンヌが海外の OA メンバーを支援することに関心を示し、ロザンヌをチェアとする第 1 回カンファレンス国際委員会が実現した。彼女はまた、BOT と国内セクレタリーも務めた。

ロザンヌは OA のために多くの文献を書き、その中にはニューカマーを方向づけるためのオリジナルパンフレット「To the Newcomer」(1966 年)、グループの立ち上げや強くする方法に関する情報を提供する「I Put My Hand in Yours」(1968 年)、OA の歴史を伝える「Beyond Our Wildest Dreams」(1996 年) などがある。『Reflections: A Visit with OA's Founder』と題された DVD インタビューと、スピーチの CD コンピレーション『And Now a Word From Our Founder... Five WSBC Speeches』は、ロザンヌの洞察と希望を広くメンバーにもたらした。

強迫的な食べ方の問題を持つ人たちが直面する感情的、身体的、精神的な課題に対するロザンヌの思いやりと理解は、世界中の人々に感動を与えた。彼女は、今も苦しむ人々を鼓舞し、癒し続ける不朽の遺産を残した。

ロザンヌを偲んで寄付を希望するメンバーは、<https://oa.org/contribute/>にアクセスするか、WSO にお電話 (505-891-2664) いただくか、郵送でご寄付をお送りいただくこともできます。

*Overeaters Anonymous
World Service Office
P.O. Box 44727
Rio Rancho, NM 87174-4727*

これは OA 承認文献の翻訳である。
This is a translation of OA-approved literature.
© [October 5,2024] Copyright
Overeaters Anonymous, Inc. All rights reserved.

“ A Tribute to OA's Founder, Rozanne S.”
(Japanese)
JNSB(#09973)